

2月2日
市議選

なんで市長はやめへんの！



永野耕平市長から性的関係を強要された女性が訴えた裁判で、市長が解決金を支払って謝罪する内容で和解したことが明るみになり、市民の怒りがわき起こっています。市長は、「議会の市長不信任に大義はない」と強弁し、被害女性の人権と尊厳を踏みにじています。一刻も早く辞職・失職させるしかありません。

1 「性加害」を事実上認定

裁判官は和解にあたっての調書前文で、永野市長は、「男女として

純粹に対等な関係だったとはいえ、むしろ優越的な立場にあって、社会的な上下関係が自ずと形成されていた」と異例の所見を示しました。

市長が公人で配偶者がいることにも触れて、「性的関係を持つのは自制すべきだったとの非難を免れない」と批判し、性加害を事実上認定しました。

2 不倫でもNG!



市長は記者会見で、「単なる不貞行為」「妻に不倫を謝罪した」とすり替えや開きなおりに終始。しかし被害女性の代理人弁護士は「都合よく脚色したストーリー」と厳しく批判しています。

「不倫」であれ「不貞」であれ、市長としても人間としても失格。政治的・道義的責任をとって即刻辞職すべきです。

3 市政を混乱させ岸和田のイメージ壊す

不適切にもほどがある!

市長がまともな説明をせず、市政の混乱を招いたとして、市議会は不信任決議を賛成多数で可決。過去にも「新庁舎建設」や「小中学校の統廃合」をめぐって市政を大混乱させました。

市議選が決め手!

新しい市議会
で日本共産党は再び
不信任案を提案します

地方自治法は第178条の2項と3項で、議会解散後に初めて招集された市議会で、三分の二以上の議員が出席し、出席者の過半数の同意で再び市長不信任が議決されれば、市長はただちに失職することを規定しています。

12月の市議会で、出席議員の四分之三以上の賛成（賛成20人、反対4人）で永野市長の不信任を議決

市長は自らの責任をとらず市議会を解散し、2月2日投票の市議選に

市議選後の市議会で、こんどは過半数（13人以上）の賛成で再び不信任が議決されれば市長はただちに失職

市長選挙
新しい市長を選ぶ

みんなの人権が大切にされる市政を

みんなの笑顔が
かがやく街へ



- 小中学校の給食費無償化
- 国民健康保険料
介護保険料の引き下げ
- ローズバスなど
地域公共交通の充実
- 小中学校統廃合ではなく
少人数学級を
- 生活道路(通学路)の安全対策
- 地産地消をすすめ農業支援
- 高齢者への補聴器補助
- 避難所施設にWi-Fi 環境整備
- ジェンダー平等の社会を

前市議会議員

岸田あつし

Profile ● 1961年京都府に生まれる ● 日本福祉大学社会福祉学部Ⅱ部卒業 ● 1991年市議会議員に初当選、以来副議長・各常任委員長など歴任、第72代岸和田市議会議長(日本共産党議員として岸和田では初)、岸和田市議会議員(9期)



実現しました 日本共産党市会議員団

- 学校給食費の無償化(期間限定)
- こども医療費助成を18歳まで拡大
- 小中学校統廃合計画を住民とともにストップ

こんども
4人そろって

前市議会議員 岸田あつし 前市議会議員 中井良介
前市議会議員 田中いちこ 前市議会議員 えびはら友子

「政治を変えよう」
「くらしを守って」の思いを

企業・団体献金も政党助成金も
受けとらない唯一の党

日本共産党へ

